

新南知多中学校建設に関わる住民説明会の概要

【日間賀島地区】

日 時 令和6年5月20日（月） 午後7時00分～午後8時00分
場 所 日間賀島公民館 集会室
参加者 10名

日間賀島地区 主な意見

Q：豊浜の中学校を解体して新校舎を建てるということで、財政と調整しながら動くとは思いますが、豊浜の校舎を新校舎にする選択ではなく、今行っている南知多中学を必要な工事をして続けるという選択は0なのか。選択肢としてあるのか。

A：南知多町にある中学校、小学校も含めて老朽化している状況であり、いつかは校舎を造っていかねばなりません。その中で町の中心にある豊浜地区に新校舎を建設することが最善だと考えております。まずこの旧豊浜中学校に建設する場合の修正案を示して、その案が合理的なものなのか、また安全なものを含め、皆さんから意見をいただいた中で再度建設に向けての方向性を出したいと考えています。ただし、決して検討にあたって他の土地も含めて検討することを排除するものではありません。

Q：建設を延期する場合、現在の南知多中学校は最大どこまで使用できるのか。

A：現状、建物は60年近く経過しています。最大で約80年使えるだろうと想定していますが、それは必要な整備をし、維持管理をして20年程度使用できるということです。

Q：場所は、旧豊浜中跡地以外というのは基本的にはもうないですか。それこそ法面や校舎を壊したりすることを考えると、もしいい場所があるなら、そこからやった方が費用は抑えられるのではないかと。

とにかく安全なものを、子どもたちにとってはそれが1番なので。

A：まずは旧豊浜中学校での方向性の案をお示しした中で他の場所にするかはその後検討していきたいと考えています。旧豊浜中学校での方向性をまず確定した中で比較するものを作る。それがやはり出来ないとなってから、次に進めていくこととなりますので、まずは旧豊浜中学校で造るところから検証していくべきだと考えています。

Q：その豊浜中学校というのは海拔どのくらいなのですか。

A：海拔約40mだと思います。

Q：豊浜になることは最初から分かっていたことですが、運動場が狭い。建設の場所的にはやはり体育館と校舎を造ると、今のままで例えば保護者がいた時とかも駐車場問題とかあとマイクロで坂の上まで上がってもらえるのかとか、下で降ろされて子どもたちは歩いていくのかとかその辺、その建つのはいいのですが子どもたちのそのこととかも考えながら計画してくれるのですか。実際、勉強と運動するのは子どもたちなので、せっかく建てるならその細かいところまで、建てるからお金がこんなにかかります、じゃあ伸ばしますで、本当は子どもたちが新校舎で3年生を迎える予定だったのですが、これって伸びるってことですよ。だからもう確実に本当は令和10年の卒業生だった子たちは今の南知多中で卒業ということになるということですよ。

A：令和10年開校は大変難しいと思っています。そちらにつきましてもこの1年をかけて検討していく課題だと思っています。

Q：令和10年に新しい学校になると思っていましたが、その延期になる説明はちゃんと全員の保護者にも伝わるように報告はあるのですか。

A：先ほど申しあげました通り、これだけの物価高騰、法面補強をしなければいけないという状況が生まれました。それを見越した中どう工程を作っていくかを1年かけて検討させていただくのですが、その中で今後どうしていくかというのは保護者を含めて住民の皆様にも説明はさせていただく予定をしています。

Q：その次の子たちから新しい校舎になるか、もしくはまだちょっと先になるかは分かりますか。

A：分らないです。それをこの1年かけて検討させていただきますということです。

Q：中学校は災害時に使うことがあると思うのですけれども、最大で何人くらい入れますか。想定している生徒数は何人ですか。

A：令和10年度に開校を予定していた計画によりますと、1学年3学級ですので、9学級プラス支援学級が3つで12学級になります。

Q：法面の保護に係る費用は、今は4億7500万円ということですが、今後調査し直したら倍になるということはないですか。

A：物価の高騰、こちらの方は正直言って見込みが分かりませんが、今回令和5年に行った調査はきちっとボーリングして地盤まで届かせたので、安定する形の構造物を造った時の金額を出しましたので、この金額が大幅に変わることは一般的には考えられません。

Q：新築で建てる話を聞いていると思うのですが、今の校舎を補強する選択肢もあるのですか、耐震補強とかして今の校舎に通うこともできるのですか。

A：耐震補強は済んでいます。ただそれも先ほど言いました通りやはり築約 80 年までが限界で、80 年までもたそうと思うと排水ですとかそういったところも改修していく必要があります。そうなってきますと、新築に比べると確かに安くなるかもしれませんが、すごく安くなるかと言ったらそういうことはないと思います。

Q：このボーリング調査の結果も説明会ですべきだよな。その法面調査した結果ちょっと危ないっていう説明が必要なんじゃないかなという気がする。なんで豊浜になったか経緯も分からない。内海だったら坂を上がる必要もない。素人考えだけどわざわざあの上に造る必要があって、広さもわざわざ広げる必要はないっていう考えがある中で、そこまでして費用をかけて豊浜に造る意味があるのか。どう考えても今の話を聞いていると、物価が上がってという話の中でもう一回フラットに考えて、見つめ直す時でもあるし、その辺、町が豊浜一択でいくのか、さっき言ったように内海地区にやり方なんていくらでもあるし、コストのこと考えれば。でもこのいろんな意味合いで豊浜っていう理屈付けがあれば仕方ないこと。ただその町の中心で、篠島・日間賀の離島から来る生徒の負担を考えて豊浜にしましたっていうのであれば、そんな意味はないかなと思ったけどその辺の理由がちょっとわからない。どっちみちバスも上まで乗っていけないのなら今の内海みたいに玄関横づけが生徒にとって楽だと思うし、そういうトータル的なことをもう 1 回考え直してもいいのかなと思う。延期するなら 1 年間このことも 1 回ちょっと含めて話し合い、もうちょっとみんなが理解しやすい説明がほしい。他の地区の場合はもっとみんなが理解できるような説明の方がいいのかなっていうのは途中で聞いていて説明も含めて思い、質問した。

A：1 年延ばしていろんな意見を聞きたいということです。100 パーセント豊浜という訳ではなく、いろんな意見を聞くために延ばすというふうに考えていただければいいと思います。元々豊浜中学校の位置と考えたのは、現在でも日間賀島の生徒は、朝・帰り・船合わせると 1 時間近く使って通っている。篠島の生徒も今度入ってきたときにはそれだけ時間をかけて通うことになるので、その負担も考えてのことです。津波のことを 1 番に考えた時にはやはり高台がいい。旧豊浜中の位置ですと高台ですので津波のことを考えれば 1 番安心です。ただ今回、この地盤の固さという部分でマイナス部分があったので今回のようなことになっています。途中でも話が出ていましたが、令和 10 年で新築の校舎に入る予定をしていたお子さんとか保護者の方には本当に申し訳ないのですが、今このまま強行してしまうと町の財政がもたないと思いますので、建設を延ばさざるを得ない。せっかく延ばすのであれば、いろんな意見を聞こうと思っています。内海だとか豊浜でこのままとかいろんな意見が出てくるとは思いますが、それを聞く期間とを考えていただければいいと思います。

Q：遅れましたが、当初の予定がこのように変わりましたと説明してくれるんですよね。

A：計画を作った時にそれに基づいていろんな設定をしました。計画を示すということは本当に責任が重いと思っております。変わらざるを得ないという状況が出ましたの

でこうして説明をさせていただいて1年の時間をくださいということです。まず豊浜というのは議論して一応決めたので、これを造るとこれぐらいかかるという基準を作らないと比較はできません。様々な議論の中で、ただここに一旦決めて、令和10年の4月というところでお示ししましたので、それに対してはきちんとなぜその結果ができないのかということ示させていただいて、造るとしたらこれだけ余分にかかってしまうということをお示しした中で、それだけかかるのならもっと安い方法を考えられるのかとか意見としては出てくる可能性は覚悟しております。ただこのオンリーワンかと言われると、今はオンリーワンのつもりで一番いいものを造るということで単に比較しても負けないものを造りたい気持ちはあります。